



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社 キッツ
 コード番号 6498 URL <http://www.kitz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 康之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川口 忠昭
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 043-299-0114

平成25年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 57,380 | 3.2 | 2,465 | △31.3 | 2,402 | △29.4 | 1,455 | △27.2 |
| 25年3月期第2四半期 | 55,605 | △1.3 | 3,587 | 53.0 | 3,403 | 60.6 | 1,999 | 86.2 |

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,803百万円 (100.9%) 25年3月期第2四半期 1,893百万円 (176.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 13.32 | — |
| 25年3月期第2四半期 | 18.30 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 103,325 | 63,464 | 60.4 |
| 25年3月期 | 99,972 | 60,219 | 59.3 |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 62,442百万円 25年3月期 59,242百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 4.50 | — | 5.00 | 9.50 |
| 26年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 117,000 | 5.1 | 5,400 | △17.7 | 5,300 | △18.7 | 3,200 | △20.8 | 29.29 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3の「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期2Q | 120,396,511 株 | 25年3月期 | 120,396,511 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 11,176,567 株 | 25年3月期 | 11,175,323 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期2Q | 109,220,597 株 | 25年3月期2Q | 109,222,599 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、添付資料P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和政策や財政政策を背景に円安・株高で推移し、輸出関連企業を中心に景況感の改善がみられ、個人消費の回復や公共投資の増加により景気が緩やかに回復することとなりました。海外経済におきましては、米国経済は緩やかな回復を継続し、欧州の景気後退も下げ止まりをみせる中、中国の景気減速懸念などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間は、バルブ事業において海外市場向けが増収となり、伸銅品事業においても大幅に増収となった結果、売上高は前年同期比3.2%増の573億80百万円となりました。損益面では、営業利益は、バルブ事業において国内の需要が低迷する中、価格競争の激化などに伴い販売価格が下落したことに加え、円安に伴う海外生産品の輸入価格が上昇した結果、前年同期比31.3%減の24億65百万円、経常利益は、前年同期比29.4%減の24億2百万円となりました。四半期純利益につきましては、前年同期比27.2%減の14億55百万円となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

① バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、国内市場において実需の低迷による売上高の減少はありましたが、海外市場において、アジア及びヨーロッパ向けが増加したことにより、前年同期比0.9%増の424億59百万円となりました。営業利益は、国内において需要の低迷と販売価格の下落に加え、円安に伴う材料費や海外生産品の輸入価格上昇の影響が大きく、前年同期比27.3%減の33億31百万円となりました。

② 伸銅品事業

伸銅品事業の外部売上高は、前年同期と比較して銅相場が安定して推移し、需要の増加に伴い販売量が増加したことにより、前年同期比18.7%増の104億64百万円となりました。営業利益は、利幅の確保に努めた結果、前年同期比56.0%増の2億60百万円となりました。

③ その他

その他の外部売上高は、フィットネス事業及びホテル事業において減収となったことに加え、諏訪ガラスの里の事業を前年6月1日付で売却したことにもない売上高が減少した結果、前年同期比5.8%減の44億56百万円となりました。営業利益は、ホテル事業において増益となりましたが、フィットネス事業においてコスト削減に努めたものの減益となった結果、ほぼ前期並みの2億68百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、売上債権の増加や棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ33億52百万円増加し1,033億25百万円となり、負債につきましては、法人税等の納付による未払法人税等の減少などはありませんでしたが、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1億7百万円増加し398億60百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払はありましたが、当第2四半期の純利益14億55百万円に加え、為替換算調整勘定のマイナス幅の減少などにより、前連結会計年度末に比べ32億44百万円増加し634億64百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2億35百万円減の58億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益は24億66百万円、減価償却費は16億30百万円となりましたが、法人税等の支払18億76百万円、売上債権の増加4億96百万円などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは1億79百万円の資金の増加（前年同期は22億44百万円の増加）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

バルブ事業を中心に17億29百万円の設備投資を行ったことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは17億84百万円の資金の減少（前年同期は22億52百万円の減少）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の20億70百万円の返済や、配当金の支払5億46百万円などがありましたが、一方で長期借入金21億90百万円、短期借入金15億5百万円の資金調達を行った結果、財務活動によるキャッシュ・フローは10億35百万円の資金の増加（前年同期は63百万円の減少）となりました。

（注）当社では短期の運転資金需要の発生に備え、当社取引銀行との間で総額40億円のコミットメントライン契約を締結しております。なお、当第2四半期連結会計期間末における当該借入金の残高はありません。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の業績を勘案し、平成25年5月13日に公表いたしました連結業績予想を下記の通り修正いたします。

（通期）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------|---------|--------|--------|--------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 120,000 | 7,200 | 7,100 | 4,300 | 39. 36 |
| 今回発表予想（B） | 117,000 | 5,400 | 5,300 | 3,200 | 29. 29 |
| 増減額（B－A） | △3,000 | △1,800 | △1,800 | △1,100 | — |
| 増減率（％） | △2. 5 | △25. 0 | △25. 4 | △25. 6 | — |
| 前期実績 （平成25年3月期） | 111,275 | 6,558 | 6,521 | 4,039 | 36. 98 |

上期におきまして、バルブ事業の国内市場で需要低迷による販売価格の下落及び販売数量の減少により、大幅な減収減益となりました。また、海外需要の伸び悩みによる日本品の輸出数量の減少により円安によるメリットも限定的でありました。

このような状況の中、7月31日の第1四半期決算公表時におきましては、第3四半期からの国内需要の回復を見込み、上期の公表未達分を下期に取り戻す見通しから通期予想を据え置いておりましたが、国内需要の回復が第4四半期にずれ込むことが予想されることから、上記の通り業績予想を修正させていただくものです。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,662 | 6,666 |
| 受取手形及び売掛金 | 22,857 | 21,309 |
| 電子記録債権 | 952 | 3,678 |
| 商品及び製品 | 7,095 | 8,038 |
| 仕掛品 | 3,744 | 3,803 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,277 | 6,358 |
| その他 | 2,397 | 2,624 |
| 貸倒引当金 | △31 | △30 |
| 流動資産合計 | 49,956 | 52,449 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 12,375 | 12,497 |
| 土地 | 10,981 | 10,788 |
| その他（純額） | 12,454 | 13,109 |
| 有形固定資産合計 | 35,811 | 36,395 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,385 | 1,289 |
| その他 | 1,884 | 1,990 |
| 無形固定資産合計 | 3,269 | 3,279 |
| 投資その他の資産 | 10,935 | 11,199 |
| 固定資産合計 | 50,016 | 50,875 |
| 資産合計 | 99,972 | 103,325 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 5,259 | 5,669 |
| 1年内償還予定の社債 | 1,728 | 1,668 |
| 短期借入金 | 2,403 | 4,004 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,576 | 3,107 |
| 未払法人税等 | 1,718 | 921 |
| 賞与引当金 | 1,624 | 1,417 |
| 役員賞与引当金 | 163 | 47 |
| その他 | 4,675 | 3,677 |
| 流動負債合計 | 21,149 | 20,513 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 8,282 | 8,378 |
| 長期借入金 | 6,330 | 6,936 |
| 退職給付引当金 | 514 | 532 |
| 役員退職慰労引当金 | 301 | 263 |
| 資産除去債務 | 425 | 427 |
| その他 | 2,750 | 2,808 |
| 固定負債合計 | 18,603 | 19,347 |
| 負債合計 | 39,752 | 39,860 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 21,207 | 21,207 |
| 資本剰余金 | 9,430 | 9,430 |
| 利益剰余金 | 33,675 | 34,584 |
| 自己株式 | △3,918 | △3,918 |
| 株主資本合計 | 60,394 | 61,303 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,697 | 1,920 |
| 為替換算調整勘定 | △2,849 | △780 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,151 | 1,139 |
| 少数株主持分 | 977 | 1,021 |
| 純資産合計 | 60,219 | 63,464 |
| 負債純資産合計 | 99,972 | 103,325 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 55,605 | 57,380 |
| 売上原価 | 42,415 | 44,875 |
| 売上総利益 | 13,190 | 12,505 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,603 | 10,039 |
| 営業利益 | 3,587 | 2,465 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5 | 8 |
| 受取配当金 | 90 | 87 |
| 為替差益 | — | 65 |
| その他 | 150 | 139 |
| 営業外収益合計 | 246 | 300 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 144 | 132 |
| 売上割引 | 148 | 148 |
| 為替差損 | 71 | — |
| その他 | 66 | 82 |
| 営業外費用合計 | 431 | 364 |
| 経常利益 | 3,403 | 2,402 |
| 特別利益 | | |
| 有形固定資産売却益 | 4 | 6 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | 109 |
| 投資不動産売却益 | 4 | — |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別利益合計 | 10 | 115 |
| 特別損失 | | |
| 有形固定資産除売却損 | 28 | 23 |
| 減損損失 | 105 | 25 |
| 投資有価証券評価損 | 43 | 1 |
| その他 | 12 | 0 |
| 特別損失合計 | 188 | 50 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,225 | 2,466 |
| 法人税等 | 1,208 | 1,004 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,016 | 1,462 |
| 少数株主利益 | 17 | 7 |
| 四半期純利益 | 1,999 | 1,455 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,016 | 1,462 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △296 | 222 |
| 為替換算調整勘定 | 172 | 2,118 |
| その他の包括利益合計 | △123 | 2,340 |
| 四半期包括利益 | 1,893 | 3,803 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,868 | 3,746 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 24 | 57 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,225 | 2,466 |
| 減価償却費 | 1,386 | 1,630 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 124 | △230 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 57 | 19 |
| 受取利息及び受取配当金 | △96 | △96 |
| 支払利息 | 144 | 132 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △2,686 | △496 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 1,196 | △107 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △123 | △186 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △274 | △94 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △374 | △744 |
| その他 | 60 | △195 |
| 小計 | 2,642 | 2,096 |
| 利息及び配当金の受取額 | 96 | 97 |
| 利息の支払額 | △145 | △138 |
| 法人税等の支払額 | △349 | △1,876 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,244 | 179 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,781 | △1,729 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 9 | 319 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △495 | △446 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △8 | △7 |
| 定期預金の純増減額 (△は増加) | △177 | △164 |
| その他 | 200 | 243 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,252 | △1,784 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △140 | 1,505 |
| 長期借入れによる収入 | 2,280 | 2,190 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,081 | △2,070 |
| 社債の発行による収入 | 984 | 694 |
| 社債の償還による支出 | △614 | △664 |
| 配当金の支払額 | △436 | △546 |
| その他 | △54 | △72 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △63 | 1,035 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 29 | 333 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △42 | △235 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,635 | 6,042 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,593 | 5,806 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | バルブ 事業 | 伸銅品 事業 | その他 (注1) | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-----------|-----------|-------------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 42,062 | 8,813 | 4,730 | — | 55,605 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 82 | 1,082 | 19 | △1,184 | — |
| 計 | 42,144 | 9,895 | 4,750 | △1,184 | 55,605 |
| セグメント利益 | 4,584 | 167 | 268 | △1,432 | 3,587 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△1,432百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,433百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はない。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | バルブ 事業 | 伸銅品 事業 | その他 (注1) | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-----------|-----------|-------------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 42,459 | 10,464 | 4,456 | — | 57,380 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 87 | 1,498 | 19 | △1,605 | — |
| 計 | 42,546 | 11,963 | 4,476 | △1,605 | 57,380 |
| セグメント利益 | 3,331 | 260 | 268 | △1,395 | 2,465 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△1,395百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,395百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はない。